
研究活動報告

特別講演会 (11月5日, Prof. Xiaochun QIAO)

2003年11月5日(水)午後3時~5時に当研究所で、中国人民大学人口研究所の喬曉春教授(Xiaochun QIAO)教授が「中国の人口とリプロダクティブヘルス」("Population and Reproductive Health in China")と題された特別講演を行った。

喬教授は中国国家統計庁の地方支局長を務めていたことから明らかな通り、理論・実証の両面で人口統計に精通した専門家で、2000年センサスの評価・分析委員会にも参加していた。また、人口統計の精密な評価を踏まえた上での人工妊娠中絶や男児選好の分析や、高齢者の健康寿命を含めた人口高齢化に関する研究を内外の学会で発表している。さらに、中国人民大学の前人口研究所長を務め、現在も『人口研究』の編集長を務めるなど国内的に活躍する一方、カロライナ人口研究センターで客員研究員を務めるなど、国際的な研究活動も活発にしてきた。

なお、今回の特別講演は喬教授のアジア経済研究所客員研究員としての在任期間終了直前に以上の多方面にわたる研究を基に行われた。各方面から関心を集めているテーマで講演されたため、比較的多くの聴衆が来られ、活発な議論が行われた。(小島 宏記)

特別講演会 (12月1日, Prof. ZENG Yi & Dr. WANG Zhenglian)

2003年12月1日(月)午後2時~5時に当研究所で、北京大学中国经济研究センター・デューク大学人口研究センターの曾毅(ZENG Yi)教授が「障害余命の過小評価の補正に関する新たな手法と中国後期高齢者への適用」("A New Method for Correcting Underestimation of Disabled Life Expectancy and Application to Chinese Oldest Old")と題された特別講演を行い、デューク大学人口研究センター研究員・Households and Consumption Forecasting Inc.社長のWANG Zhenglian博士が「新たなProFamyソフトウェアとその米国の世帯推計への適用」("ProFamy New Method/Software and Application to U.S. Household Projection")と題された特別講演を行った。

曾毅教授は形式人口学を中心とする各分野で世界的に著名な方で、多数の英語の業績がある。Wang博士も形式人口学の専門家で米国政府補助金によりProFamyを普及するためのベンチャー企業を運営されている。

なお、今回の特別講演は第7回アジア・オセアニア国際老年会議等のために来日された機会をとりえて行われたが、2名の講演者が中国、高齢化、世帯推計といった関心を集めているテーマにまたがった講演されたため、多くの聴衆が来られ、活発な議論が行われた。(小島 宏記)

第8回厚生政策セミナー

人口減日本の選択—外国人労働力をどうする?—

2003年12月16日(火)午後1時~5時に国連大学国際会議場で第8回厚生政策セミナー「人口減日